

令和5年度版

# 動物通信

## #猫について

～猫ってどんな生き物？～



はじめに .....	1
1 猫と人との絆 <small>きずな</small> ができるまで .....	3
2 猫の悲しい歴史 .....	6
3 飼い主のいない猫 .....	9
おわりに .....	14

令和6年2月  
杉並区

# はじめに

みなさんは、動物は好きですか？

こんな質問をされる時『犬派ですか？猫派ですか？』と聞かれることもありますよね。犬と猫は、どちらもかわいらしく人間にとって身近な存在です。

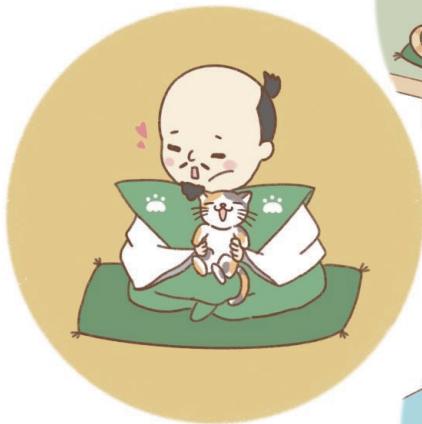
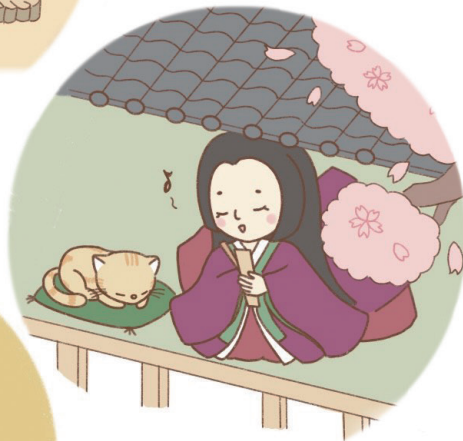
実は最近、猫を飼う人が、犬を飼う人より多くなってきているそうです。

インターネットやSNSで、さまざまな猫の写真や動画が投稿されていて、アイドルのように人気がある猫もいます。今、世の中は、猫ブームの時代かもしれません。

実は、日本人の猫のブームは、今に始まったことではなく、歴史をさかのぼると、最初のブームは平安時代のようなようです。当時の猫は『唐猫』<sup>からねこ</sup>と呼ばれ、中国から輸入されたブランド猫です。貴族などの身分の高い人だけが飼っていました。

第2期の猫ブームは江戸時代と言われています。日光東照宮の眠り猫、さまざまな浮世絵や招き猫など、猫をモチーフにしたキャラクターが大流行しました。現在も知られている猫の殿堂入りキャラクター<sup>でんどうい</sup>です。

これだけでも、猫は日本人に深く愛されていたことがわかります。かわいいだけじゃ語りつくせない猫の話を、ほんの一部ですがお伝えしようと思います。



# 1 猫と人との絆ができるまで

猫と犬は、元々の祖先そせんは同じで、森に住む小型の肉食動物だと考えられています。

猫は森に留まり、単独たんどくで小さい獲物つかを捕まえられるように、わずかな物音や鳴き声がよく聴こえる能力と、木に登るための鋭い爪つめ、すばしっこい動きしゅんぱつりょくができるような瞬発力などを発達させました。こうして、猫はネズミを狩る、小さなハンターとなったわけです。

人間の生活の歴史で、農業をするようになり、食料たくわを蓄えられるようになると、その食料を目当てにやってくるネズミを獲物として退治してくれる猫は、人間にとって、ありがたい存在になりました。こうして、人間は、猫が家に居つくように、猫を大切にしました。

猫にとっても、人間のそばに行くことは、餌えさが取り放題で、隠れ家になるような建物があるので、メリットがありました。

この状況は、猫に主導権しゅどうけんがあります。猫が自分にとって都合がよい人間と場所を選んで、自分の意思で飼い猫になったのです。猫は自由で自立した性格を残したまま、人間に愛され続けているのです。

猫は家に居つくだけでなく、船にも乗ってもらいました。人間が海を越えて新しい大陸に移動する時、猫は『ネズミから荷物を守る用心棒ようじんぼう』として重宝ちようぼうされたのです。

きっと、今と同じように船員たちを和ませるペットのような役割もあったのでしょう。こうして、全世界に猫は広がっていったと考えられています。

猫の仕事は、元々はネズミなどの害獣駆除でしたが、人に愛され、餌をもらえるようになると、自分の意思でネズミを狩る必要がなくなります。飼い猫の仕事は、人のそばにいて、かわいらしく存在することがメインになってきます。

大きさはあまり変わらずに、毛の模様や長さなど、見た目の美しさをより求めるような品種改良が盛んにおこなわれるようになってきました。

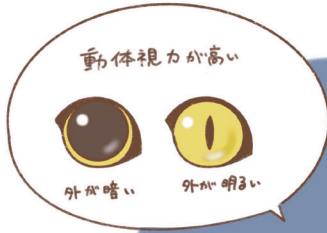
## 【犬の話を少しだけ】

犬は野生のオオカミを家畜化したものです。

オオカミは群れでの狩りを成功させるために、お互いのコミュニケーション能力を発達させました。このコミュニケーション能力は、人間の訓練を受け入れ、人間を喜ばせたいと思う、犬の特徴です。

犬が獲物を追いかけるための走る能力や、においをかぎ分ける能力など、人間にとって都合がよい能力をより高め、仕事の目的にあった様々な犬が品種改良によって生み出されました。犬が、大きさだけでなく、顔や体の形までもが様々な理由は、それだけ多くの仕事を人間が犬に求め、犬もそれに応えてきた歴史があるからです。

# HUNTER



# HEALING

## 2 猫の悲しい歴史

実は、猫はずっと愛されキャラだったわけでもないのです。

中世のヨーロッパでは、猫は魔女の手先として<sup>ぎゃくたい</sup>虐待されたことがありました。15世紀から18世紀にかけて、ヨーロッパ各地で魔女狩りが盛んに行われました。魔女とされた女性たちと、猫が共に火あぶりの刑に<sup>しよ</sup>処されることが多かったのです。

魔女とされた女性は、一人暮らしで猫を飼っている人も多かったようです。また、猫が悪魔の手先として考えられてしまったのは、猫が夜行性なことや、人の思い通りに行動してくれない性格だったことも理由だと考えられます。

<sup>くらやみ</sup>暗闇を連想する黒い猫が特に被害にあいました。それから猫は、古代エジプトやイスラム<sup>けん</sup>圏では聖なる動物として<sup>あが</sup>崇められていたため、キリスト教徒にとって猫は<sup>いきよう</sup>異教のシンボルとなりました。キリスト教とイスラム教の対立に猫が巻き込まれたのです。

黒い猫が、<sup>ふきつ</sup>不吉とされているのは、西洋の文化です。日本では元々、黒い猫は『<sup>ふくねこ</sup>福猫』<sup>えんぎ</sup>とって猫の中でも特に縁起が良いと考えられていました。最初に作られた招き猫も、実は黒猫です。

日本では、猫はネズミを捕ってくれる大切でかわいらしい動物でしたが、日本でも猫に受難じゆなんな時期がありました。

猫は長生きすると『猫股ねこまた』になるという言い伝えです。猫股ねこまたとは、不思議な妖力ようりよくを持ち、人の言葉を理解できる猫の化け物のことです。

平安時代から言われはじめ、時代の変化と共に猫にまつわる様々な逸話いつわが混ざり変化し、江戸時代には様々な絵図が残っています。この化け猫になるという悪役のイメージが、猫を殺しても心が痛まない感覚になり、猫があるものの材料に使われた一因とも考えられています。

三味線しゃみせんという楽器を知っていますか？

実は、猫の皮で作ると、とても音色ねいろがよいのだそうです。『猫捕り』と呼ばれる業者が昭和の時代まで存在し、猫を捕まえて皮を剥はいで売っていたそうです。昭和の時代は、今よりも猫が放し飼いで外を自由に歩いていました。その飼い猫つかが、猫捕りに捕まってしまうのです。

現在は、動物愛護管理法があるので、猫を保護するのではなく、傷つけることを目的に捕まえることは犯罪です。ですが時々、猫が捕まって虐待ぎゃくたいされる事件が報道ほうどうされていますので、外に遊びに出る猫は自由であると同時に危険もあるということです。





### 3 飼い主のいない猫

私たちが猫と呼ぶ動物は、正式な名称は『イエネコ』と言って野生動物ではありません。今、外で暮らしている猫も、もとは人間が飼育していた猫か、その子孫です。家から脱走したり、たまたま迷子になった猫が、外でサバイバル生活をしているのかもしれない。

杉並区にも、外で暮らしている猫がいます。外で生きていかなければならない事情があるのでしょうか。よく頑張って生き残りました。外で猫が生まれても、たいていの子猫は暑さ寒さ、<sup>う</sup>飢え、病気、カラスや他の動物などに殺されて死んでしまいます。<sup>せいびょう</sup>成猫にまで成長できた場合は、親兄弟としか生活していなかったことが多く、人間に慣れていません。子猫の時に、人に懐くことを学習しないと、人を警戒するようになります。生きていくために餌をもらえる距離まで近づくかもしれませんが、飼い猫のようにはいきません。

猫が好きな人は、外の猫を『お腹を空かせているからかわいそうだ』と思い、餌をあげたくなるかもしれません。しかし、この外猫に餌をあげるということは、色々と覚悟が必要です。餌を与え、適切な処理を怠る<sup>おこた</sup>ことにより、食べ残しによる不衛生な状態が続いてしまうかもしれません。

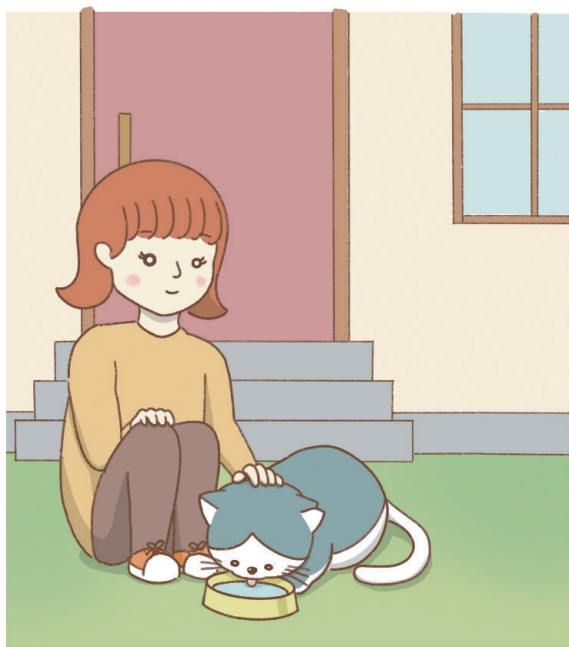
ふにんきよせいしゅじゅつ

はつじょうき

不妊去勢手術をしていない猫は、発情期に鳴き声がうるさかったり、いつの間にか子猫を産んでいるかもしれません。

杉並区は外で暮らす猫に対して『飼い主のいない猫の世話・杉並ルール』を<sup>さだ</sup>めています。餌やりだけでなく、環境の掃除や、健康管理をして、猫が苦手な人にも理解してもらえるように、猫の一生を地域で見守っています。

『杉並どうぶつ相談員』というボランティアが、この活動に協力しています。杉並どうぶつ相談員は、地域の区民センターで行われるおまつりや、杉並区総合震災訓練など、多くのイベントに参加していますので、気軽に声をかけて質問してみてください。



犬は、<sup>きょうけんびょうよぼうほう</sup>狂犬病予防法という法律があって、外で犬だけで歩いていると必ず捕獲されますが、猫は、外にいても必ず捕獲されるような法律はありません。猫を飼う場合は、完全室内飼育が<sup>すいしゅう</sup>推奨されていますが、外出自由な猫もいます。外にいる猫が、飼い猫なのか？ 飼い主がいない猫なのか？ どうやって見分けるのでしょうか？

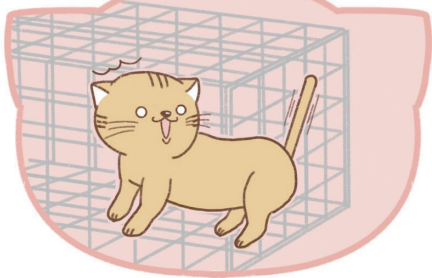
飼い主のいない猫は、飼い猫よりも目つきが厳しく、毛がボサボサで汚れていることが多いですが、耳にも特徴があることがあります。外で耳に切れ込みが入っている猫に会ったことはありませんか？

飼い主のいない猫を増やさないためには、子猫が増えないよう不妊去勢手術が必要です。

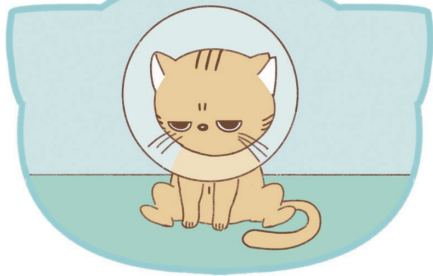
飼い主のいない猫を捕まえて<sup>トラップ</sup> (Trap)、不妊去勢手術をして<sup>ニューター</sup> (Neuter)、元の場所に戻す<sup>リターン</sup> (Return) ことを、TNRと言いますが、この処置が終わったら、耳の先に切れ込みを入れます。切れ込みの形は、まっすぐだったり、V字型だったりします。麻酔<sup>ますい</sup>をかけて手術するので、耳を切るときに痛みはありません。

飼い主のいない猫の目印ですが、実際は、不妊去勢手術が終わった後、飼い猫になった猫もいるかもしれません。また逆に、耳にできたケンカの傷後が、この切れ込み目印のように見えることもありますので、よく観察する必要があります。

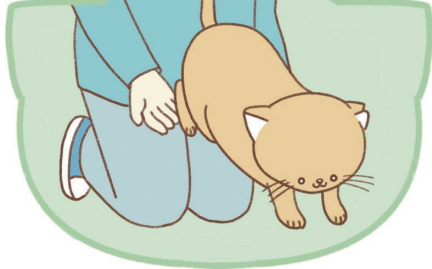
TRAP



NEUTER



RETURN



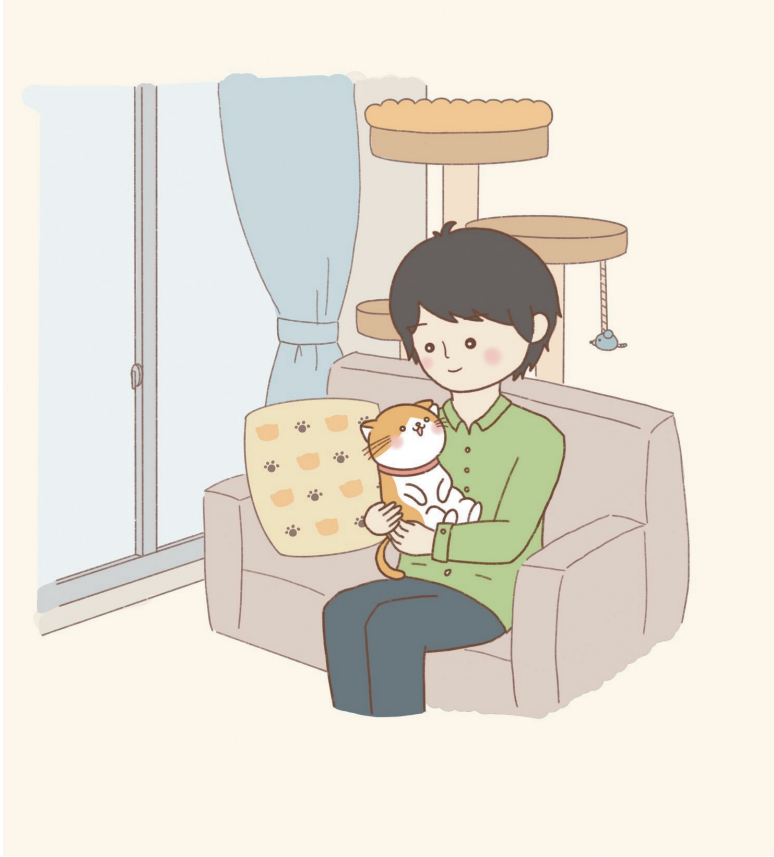
猫が外で自由にしているということは、外で狩りをしているということです。猫が、他の野生動物の生態系せいたいけいに悪い影響があることがあります。

東京は、建物などが多いイメージですが、小笠原諸島おがさわらしょうという自然豊かな島もあり、島固有のさまざまな珍しい野生動物が生息しています。この島々では、人間が持ち込んで、管理が行き届かなくなった猫の影響で、島固有の珍しい鳥たちが、どんどん食べられてしまいました。絶滅寸前ぜつめつすんぜんです。猫が悪いわけではありません。こんな状況を放置した人間が悪いのです。

小笠原の飼い主のいない猫は、捕獲され、不妊去勢手術をした後、元の場所には戻しません。鳥たちのために戻すことができないのです。東京都獣医師会の獣医師が人慣れするまで飼育し、新しい飼い主を探します。今も、この活動は続いていますので、小笠原から来た猫の飼い主になりたい人は、動物病院で相談してみてください。小笠原の鳥たちは、島でしか生きられませんが、猫は人と家の中で幸せに暮らすことができるのです。

小笠原諸島が2011年に世界自然遺産に登録されたのは、この猫に優しい方法で、島の固有動物が守られていることも影響しています。

## おわりに



今回の猫の話は、本当に、ごく一部です。

猫と人との歴史は、まだわかっていないこともあり、歴史や生物などの研究で、さらに新しい事実が見つかるかもしれません。

この本が、猫だけでなく、いろいろな動物、そして周りの人や環境に関しても考えるきっかけになったら、嬉しいです。

## あとがき

この動物通信は、毎年、杉並区獣医師会が書いているもので、動物に関する様々な題材を取り上げています。過去に発行された動物通信は、杉並区獣医師会ホームページで見ることができます。

杉並区民の方々の、動物の飼育の手助けになれば幸いです。

編集

## 公益社団法人 東京都獣医師会杉並支部

ホームページ

(URL) <https://www.s-vet.com>

(イラスト協力)

女子美術大学芸術学部

アート・デザイン表現学科

ヒーリング表現領域 山下 紫織

## 獣医師会会員 動物病院案内 (町名順)

阿佐谷ペットクリニック	阿佐谷北 4-1-2	3330-3020
グリム動物病院	阿佐谷南 3-5-1	3393-2624
ちやふるペットクリニック	天沼 3-23-34	6240-6377
たかぎ動物病院	井草 1-35-4	5382-1233
いぐさ動物病院	井草 1-31-16	3397-7115
ひがしやま動物病院	和泉 2-33-22	3322-8338
さくら動物病院	今川 4-20-11	3301-7800
ハナ動物病院	梅里 2-28-4	5913-8241
永福あにまるクリニック	永福 4-22-6-1B	5329-1255
パル動物病院	永福 3-51-13	5376-5344
天野動物病院	大宮 1-2-3	3325-6798
ガラス動物病院	荻窪 5-4-9	3220-2717
K's どうぶつ病院	上井草 3-1-19	3395-1947
米川動物病院	荻窪 3-12-5	3398-1141
荻窪ツイン動物病院	上荻 1-23-18	3220-1122
もりぞう動物病院	上荻 2-21-25	6915-0035
エルムス動物医療センター	上高井戸 1-14-4	3304-4090
ダクタリ動物病院 久我山	久我山 3-7-27	3334-3536
久我山動物病院	久我山 5-33-20	3331-0960
オハナ動物病院	高円寺北 3-23-6-1F	5364-0203
高円寺アニマルクリニック	高円寺南 2-14-14	3311-1014
小金井動物病院	下井草 3-32-10	3390-8794
広瀬獣医科病院	下井草 2-4-10	3394-0116
鈴木動物クリニック	善福寺 2-30-5	5382-8707
浜田山かしわら動物病院	高井戸東 3-1-25	3290-1239
しんどうぶつびょういん	高井戸東 4-9-1	5336-3721
ミ・サ・キ・動物病院	高井戸東 2-25-8	5370-1013
成田犬猫病院	成田東 3-2-3	3315-5300
小張獣医科病院	西荻北 2-13-3	3390-6025
ブルーミントン動物病院	西荻南 2-22-11	5941-9711
マスナガ動物病院	浜田山 4-11-12	5378-1014
東京動物医療センター	松庵 2-19-15	3331-3381
塩田動物病院	杉並区南荻窪 1-19-14	3332-2310
なかむらペットクリニック	南荻窪 4-22-6-1F	5370-6070
みやまえ動物病院	宮前 3-9-1	5344-1677
D&C Physical Therapy	和田 3-60-10	3311-8888
安達動物病院	和田 3-60-11	3311-5678

## 動物通信 #猫について ~猫ってどんな生き物?~

令和5年度版

令和6年2月発行

発行・監修

杉並区杉並保健所生活衛生課

〒167-0051 杉並区荻窪5-20-1 電話 03(3391)1991

☆杉並区のホームページでご覧になれます

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>

登録印刷物番号

05-0069



R40

古紙配合率40%再生紙